

宇垣一成 うがき ひとしげ 舊陸軍軍人。慶應四年六月十一日備前國生れ、昭和二十一年四月二十日歿（八六一―九五）。號葦水。陸軍士官學校、陸軍大學校卒。教育總監部本部長、陸軍次官等を経て、大正十二年陸相、翌年大將。その後と外相、拓務相歴任。この間昭和六年朝鮮總督。戦後二十八年参議院議員（全国區で最高野黨選）。

著書『朝鮮の將來（宇垣總督の演説）』（昭和九年九月）二十日朝鮮總督府）、『身邊雑話』（矢部周漸、昭和十二年七月十六日今日の問題社）、『松籟清談』（述・鎌田澤一郎著、昭和二十六年一月十日文藝春秋新社）等。憲政記念館編『宇垣一成関係文書』（昭和六十年九月憲政記念館）刊。



松籟清談

・ 鎌田澤一郎著

松籟清談・宇垣一成述
鎌田澤一郎著

松籟清談

・ 宇垣一成述

宇垣一成述
鎌田澤一郎著

八十年の戦後、近代日本史の整理と共に、政治の改革として常に存在する日本人の存在を、宇垣の語るその一代の回顧録、軍政のモメントとして、語り可からしめる。

著者 鎌田澤一郎